

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

[基本事務事業名] 沿岸域の保全・再生事業 (301)
 [評価年月日] 平成12年11月27日
 [主担当部課名] 港湾課
 [記入課名・課長名・電話] 港湾課・港湾課長 田中 植・059-224-2694

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策： 自然との共生の確保 (— 1)

施策： 多様な自然環境の保全・創出 (1)

総合計画の目標項目： 自然海岸等の延長距離

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策： 治山・治水・海岸保全対策の推進

2 基本事務事業を巡る環境変化(過去 現状 将来)

自然海岸が人工構造物で防護されてきた。また、海浜の侵食は進んでおり年々海岸部の自然環境は悪化している。住民からは沿岸域の適正な保全と自然海岸の復元が求められている。

また、近年海岸は「防護」のみならず「環境」「利用」の総合的な視点に立った海岸の管理及びその充実を図る観点から海岸法が一部改定された。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図(何をどういう状態にしたいのか)

自然の消波機能と生態系の生息の場である海浜を創設していく。また、山から流れ出る流木等のゴミを清掃することにより自然豊かな海浜を維持していく。また、海浜の侵食を抑えて海浜を守る。

3-(2) 成果指標名・成果指標式(総合計画の目標項目には*を付す)

* 自然海岸等の延長距離：1993年度(平成5年度)末 約759kmを概ね現状維持

海浜復元海岸線延長：養浜海岸延長(m)

海浜の自然維持度：清掃実施海岸線延長/清掃必要海岸線延長

変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明(指標動向に影響する要因 指標の有用性 設定の理由など)

埋立及び干拓事業等で環境維持(保全)海岸等から人工海岸に改変された海岸(延長)を、他地区海岸の人工海岸を海岸保全再生事業(養浜)により環境維持(保全)海岸に改善して自然豊かな海岸等の延長を減少させない。

現状の海浜を清掃することにより自然豊かな海岸として維持保全する。

3-(4) 結果(施策における2010年度の目標)

養浜海岸延長：4,600m

海浜の自然維持度：100%

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度(H11年度)における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

養浜の海岸線延長は、目標を達成することができた。一方、清掃については必要最小限の清掃活動はできた。

前年度に残った課題

養浜の海岸線延長は、目標値に達成しているが、引き続き重点的に養浜を実施していく。清掃が必要な海岸線延長は年々増加する傾向にあることから、今後は限られた予算の中で重点的に清掃する

とともにボランティア活動等とネットワークを組みながら支援をしていただくことを検討していく。

4-(2) 本年度(H12 年度)における基本事務事業の見込み評価

本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

平成12年度補正により養浜の目標値はほぼ達成できる。清掃についても、概ね必要最小限の清掃は実施できた。

本年度残れると思われる課題

海岸法の一部改正に伴って、今後清掃すべき海岸線延長は増加することとなるので、清掃するための必要経費が不足すると予想される。そのため、効率的な清掃を実施するため官民連携の清掃活動がさらに必要となってくる。

5 基本事務事業の改革方向

海浜部は、気圏・水圏・地圏の3圏が接する特殊な環境であり、3圏の相互作用による特殊な環境条件の下で、独特の生態系が形成されている。そのため海浜は、今後次世代に残すべき必要な環境の場である。しかし、海浜の侵食傾向は海岸部のみの整備では限界があり、流域内の他の事業と連携し土砂管理の一元化等を行う必要がある。

6 成果指標値及びコスト等の推移

そのー1(海浜復元海岸線延長)

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等(千円)	必要概算 コスト(千円)
	目 標	実 績		所要時間(時間)	
前々年度 (H10 年度)	1,350	1,060		2,823,589 48,721	3,027,244
前年度 (H11 年度)	1,800	2,410		2,370,000 40,032	2,536,133
本年度 (H12 年度)	2,700	2,680		1,575,000 27,121	1,687,552
本年度補正後 (H12 年度)	2,700	2,680		+141,000 -659	+138,269
翌年度 (H13 年度)	3,000	——		1,207,200 23,843	1,307,103
計画目標年次 (H22 年度)	4,600	——		——	——

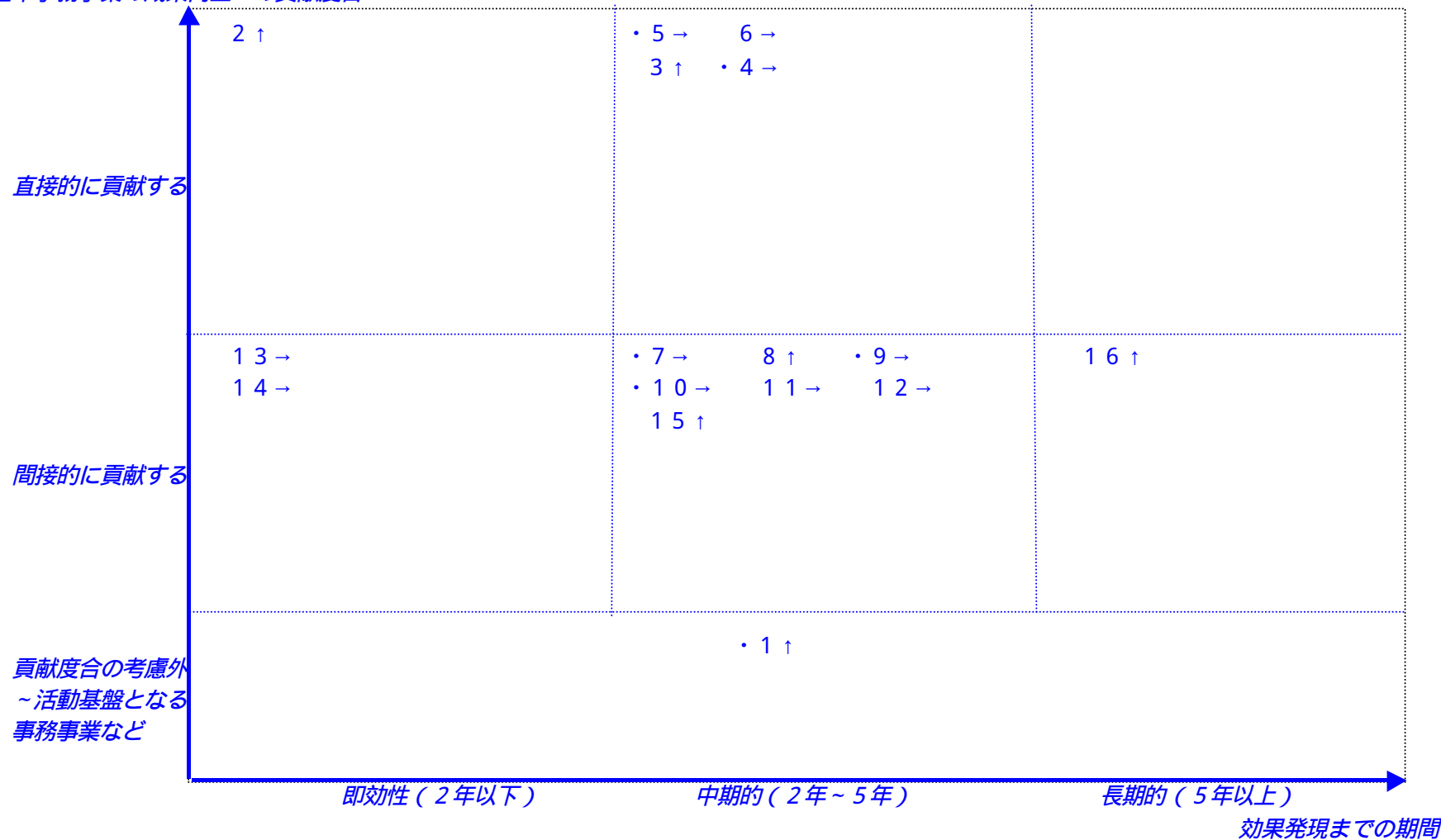
そのー 2 (海浜の自然維持度)

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等(千円)	必要概算 コスト(千円)
	目 標	実 績		所要時間(時間)	
前々年度 (H10 年度)	1 0 0 %	1 0 0 %		88,618	146,189
				13,773	
前年度 (H11 年度)	1 0 0 %	1 0 0 %		69,706	114,667
				10,834	
本年度 (H12 年度)	1 0 0 %	1 0 0 %		78,700	129,313
				12,196	
本年度補正後 (H12 年度)	1 0 0 %	1 0 0 %		- 11,000	- 11,000
				0	
翌年度 (H13 年度)	1 0 0 %	—		67,700	118,798
				12,196	
計画目標年次 (H22 年度)	1 0 0 %	—		—	—

7 翌年度(H13 年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM: Project Portfolio Matrix)

<必要概算コスト： 5 億円以上 ~ 1 億円 ~ 5 千万 ~ 1 千万 ・ 1 千万未満 * 休止・廃止>

基本事務事業の成果向上への貢献度合



各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

事務事業名 (担当課)	成果指標名	事務事業の概要	13年度 予算額 (千円)	予算額 前年度比 (±千円)	13年度 所要時間 (時間)	所要時間 前年度比 (±時間)
(新) 1. 伊勢湾再生ビジョン 推進事業(企画課)	・伊勢湾に係る水 質、水環境等の 的確な現状の把 握と課題の抽出 ・伊勢湾再生に向 けての各施策分 野における提言 項目数(その他)	伊勢湾を取り巻く状況を踏まえ、豊かな自然環境を 次世代に継承するとともに、広く県民生活との関わり も含めた伊勢湾の総合的な利用と保全のためのビ ジョンを、三重県独自の視点から策定する。	13,969	+ 4,257	4,950	+ 2,870
2. 海岸環境整備事業 (農業基盤整備課)	養浜	養浜、海岸保全施設(堤防・護岸・離岸堤等)及び 遊歩道等の整備	180,000	+ 30,000	2,100	+ 100
3. 国補海岸環境整備事業 (建設)(港湾課)	養浜	養浜、海岸保全施設(堤防・護岸・離岸堤等)及び 遊歩道等の整備	249,000	+ 150,000	2,757	+ 266
4. ふるさとふれあい海岸整備 事業(港湾課)	養浜	波浪、高潮等の災害から堤防背後地の人命財産を防 護する養浜、海岸保全施設及び遊歩道等の整備	0	0	0	0
5. 海岸景観支援事業 (港湾課)	清掃	海浜の美化	700	0	167	0
6. 国補海岸環境整備事業 (運輸)(港湾課)	養浜	養浜、海岸保全施設(堤防・護岸・離岸堤等)及び 遊歩道等の整備	210,000	- 162,000	4,114	0
7. 県単耕地施設管理事業 (農業基盤整備課)(再掲)	養浜	養浜事業	2,800	- 200	350	0
8. 海岸高潮対策事業 (建設)(港湾課)(再掲)	養浜	波浪・高潮等の災害から堤防背後の人命財産を防護 するために養浜を実施	100,000	+ 50,000	7,644	+ 3,822
9. 離島振興対策事業 (運輸)(港湾課)(再掲)	養浜	波浪・高潮等の災害から堤防背後の人命財産を防護 するために養浜を実施	0	- 189,000	0	- 1,623
10. 県単海岸局部改良事業 (港湾課)(再掲)	養浜	波浪・高潮等の災害から堤防背後の人命財産を防護 するために養浜を実施	0	- 30,000	0	- 4,607
11. 井田海岸緊急保全事業 (港湾課)(再掲)	養浜	波浪・高潮等の災害から堤防背後の人命財産を防護 するために養浜を実施	300,000	- 200,000	625	- 417

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

事務事業名 (担当課)	成果指標名	事務事業の概要	13年度 予算額 (千円)	予算額 前年度比 (±千円)	13年度 所要時間 (時間)	所要時間 前年度比 (±時間)
12．七里御浜緊急侵食対策事業（港湾課）(再掲)	養浜	波浪・高潮等の災害から堤防背後の人命財産を防護するために養浜の検討	20,000	- 30,000	210	- 314
13．海岸維持修繕事業（港湾課）(再掲)	清掃	海浜の美化清掃	67,000	- 12,000	12,028	0
14．海岸調査事業（港湾課）(再掲)	養浜	消波機能及び海浜の生態系の生育の場としての浜を創設するための養浜の調査検討	15,400	- 19,600	3,913	- 2,947
15．海岸侵食対策事業（建設）(再掲)	養浜	波浪・高潮等の災害から堤防背後の人命財産を防護するために養浜を実施	130,000	+ 130,000	2,130	+ 2,130
16．海岸台帳整備（港湾課）(再掲)	海岸台帳整備率	海岸を適切に管理するための海岸保全施設の台帳整備	130,024	+ 128,924	10,260	+ 9,392

成果指標名の記入欄は以下の記号で表す。

記号名	内 容
養浜	海浜復元海岸線延長
清掃	海浜の自然維持度
その他	